

# メッセージダイアログを表示する方法

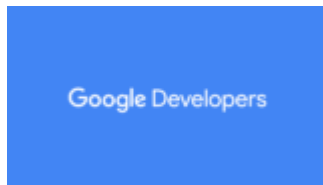
では、スプレッドシートにメッセージダイアログを表示する方法をお伝えしていきます。

## Browser.msgBoxでメッセージを表示する

スプレッドシートのコンテナバインドスクリプトを使っているときのみ、**Browser.msgBox**メソッドで、スプレッドシート上にメッセージダイアログを表示することができます。

**Browser.msgBox**(メッセージ)

なお、他の方法としてスプレッドシート・ドキュメント・フォーム・スライドのコンテナバインドスクリプトであれば、Uiクラスを使ってメッセージダイアログを表示する方法もありますので、ご興味あればチャレンジしてみてください。



Class Ui | Apps Script | Google Developers

 developers.google.com

## メッセージダイアログを表示するスクリプト

で、今回は以下のスクリプトを作成しました。

```
function myFunction() {  
  Browser.msgBox('Hello GAS!');  
}
```

実行してみましょう。

さて、何か起きるでしょうか？

## 「承認」とは何か

メッセージダイアログにかかわらず、**GASからGoogleのアプリケーションを操作しようとしたときには「承認」が必要になります。**

GASのスクリプトも、スプレッドシートも、Googleのクラウド上にありますよね。

つまり、同じブラウザから操作していても、Googleから見たら、そのスクリプトが本当にそのスプレッドシートをいじってよいかどうかはわからないのです。

なので、初回実行時にスクリプトが、スプレッドシートにアクセスして良いかを、「承認」する作業が必要になります。

基本は、ダイアログの手順に従えばいいのですが、無料のGmailアカウントを使っている場合はちょっと注意が必要です。

それについて、以降解説をしていきます。

## Google Workspaceアカウントを使っている場合 「承認が必要です」ダイアログ

Google Workspaceアカウントを使っている場合であれば、まず以下の「承認が必要です」ダイアログが出現します。



承認が必要です

このプロジェクトがあなたのデータへのアクセス権限を必要としています。

とありますね。

「GAS Bot」があなたの（スプレッドシートの）データにアクセスしてよいか承認が必要です、ということですね。

## アカウントの選択

「許可を確認」をクリックすると、以下「アカウントの選択」ウィンドウが開きますので、スプレッドシートの持ち主（オーナーといいます）であるアカウントを選択します。



## リクエストの許可

続いて別のウィンドウが表示されます。

スクリプト「GAS Bot」がスプレッドシートへのアクセスをリクエストしていますよ、許可していいですか？ という意味ですね。

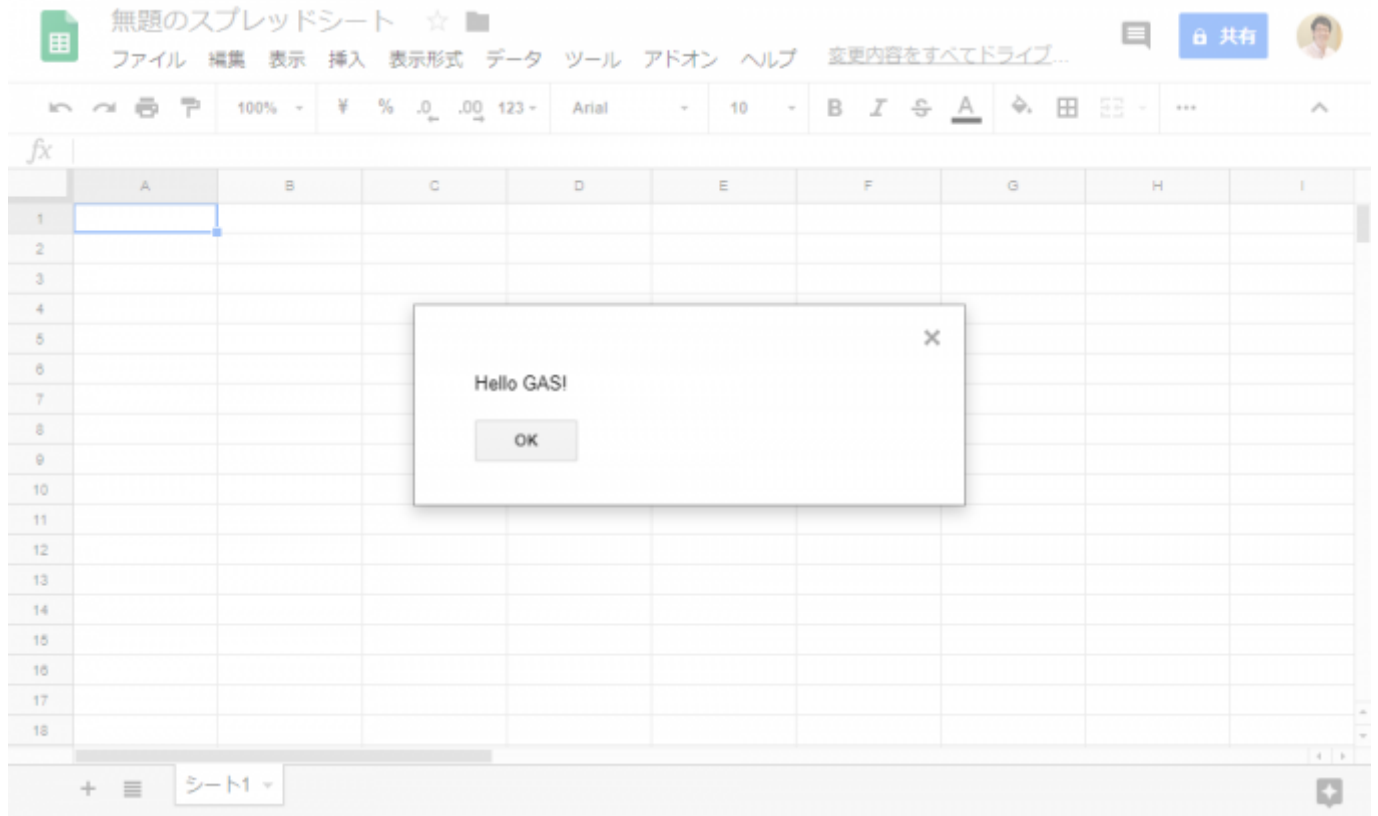
「許可」をすれば、無事に承認されたことになります。



## メッセージダイアログの表示

これでようやく、スクリプトが実行されます。

スプレッドシートのタブを開くと、以下のようにメッセージダイアログが開かれているはずです。



## 無料のGmailアカウントを使っている場合

無料のGmailアカウントを使っている、つまり「~@gmail.com」のアカウントを使っている場合、この「承認」のフローが少し異なり、より「びっくり」させられます。

## このアプリは確認されていません

Google Workspaceの場合の「アカウントの選択」までは同じフローですが、その後に、以下のようなウィンドウが表示されます。



「このアプリは確認されていません」

このアプリは Google による確認が済んでいません。よく知っている信頼できるデベロッパーの場合に限り続行してください。

…だそうです。

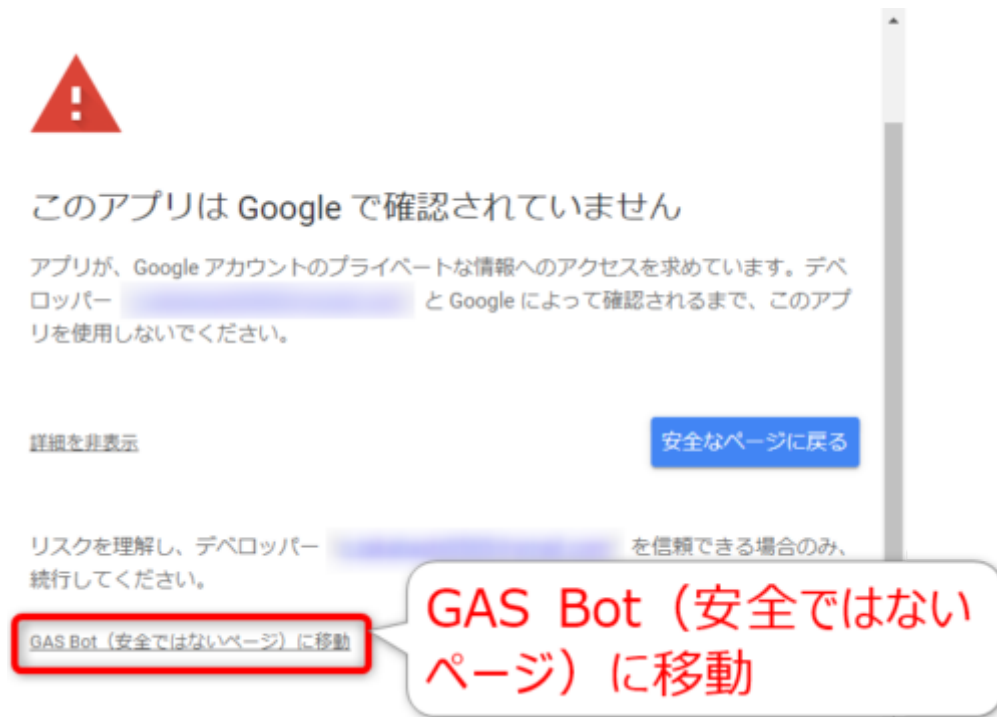
うっかり「安全なページに戻る」をクリックしたくなりますが、ダメです。それだと先に進めません。

ちっちゃいですが「詳細」をクリックが正解です。

## 安全ではないページに移動する

すると、ウィンドウの下に隠れていた部分が表示されるようになります。

また、クリックしづらいですが「メッセージダイアログ（安全ではないページ）に移動」をクリックしてください。



これでようやく「ようこそ」ウィンドウが表示されますので、「許可」をすることで承認の作業が完了します。

無料のアカウント、ちょっと嫌がらせ受けてますかね。

## まとめ

以上、Google Apps Scriptでスクリプト実行時の「承認」びっくりしないためのアレコレについてお伝えしました。

クラウドで提供されているGASならではの手順と言えますね、面倒ですが安全にGASを利用するために必要なものと理解ください。

また、**無料のGmailアカウントを使っている場合は、より面倒でびっくりさせられますが、大丈夫です。**使えますので。

ただ、Google Workspaceのほうが色々と優遇されていますし、何より安全にアカウント管理が可能ですから、企業などではGoogle Workspaceを利用するようにしましょう。